

教材例

【教材名】オリジナル組み合わせカード



【指導目標】

- 1 4つの中から違うものを指摘できる。
- 2 違いの理由を端的に説明できる。

【やり方】

- 1 オリジナル組み合わせカードを一枚取る。
- 2 まず絵の名前を一つずつ呼称した後で、違うものを発見し、指さしする。
- 3 違いの理由を説明する。できたらカードゲット。

【適用できない例】

一つ一つの絵が何であるかがわからない段階の時。

【コメント】

物には属性、つまり、機能や用途、材質などがあって、物の名前とは別に存在していて、同じ物でも名称と属性とで違った呼び方をすること。それは抽象概念であって、多くの具体物からの共通点、異質点の抽出、捨象であること、ということの理解が難しく、一つ一つ丁寧に教えてあげることによって獲得していく子があります。

人間関係でも、数多くの経験から共通点、異質点を見いだすことが難しいと、過去の経験を次に生かすことが難しくなります。

抽象概念の発達を手助けする教材です。

